

ベトナムの政治体制と7月の注目ニュース

とちぎベトナムサポートハブ

(運営：ONE-VALUE 株式会社)

2024年7月

I. はじめに

ベトナム・ハノイ市に開設された、とちぎベトナムサポートハブ（愛称：とちぎハブ）より、毎月ベトナム現地の最新情報をお届けいたします。今回は、ベトナムの社会主義志向型市場経済の解説に加え、今月（7月）の注目ニュースをお伝えいたします。

II. ベトナム共産党が目指す社会主義志向型市場経済

ベトナムの政治体制として共産党による集団指導体制が敷かれています。一方で、共産党の1党独裁によるベトナムのような社会主義国が市場経済制度を導入していることに矛盾を感じる人も少なくないかもしれません。そこで、今回はベトナムが目指す社会主義志向型市場経済について、解説したいと思います。

➤ 理念

まず、「社会主義」や「共産主義」といった用語は経済用語であり、政治体制を表しているのではありません。政治体制を表している用語としては「民主主義」があり、その対義語として「君主制」や「独裁制」などがあります。「社会主義」「共産主義」=「非民主的」「閉鎖的」というイメージをもたれる方がいるかもしれません。しかし、「社会主義」「共産主義」の基本的な理念は、「みんなが平等で公正な社会を実現する」であり、その理念が「非民主的」「閉鎖的」に直結することはありません。ただし、この理念を実現するための手段として、貧富の格差などが拡大しないよう自由競争を制限し、企業や個人の経済活動を国・政府が主導し、管理するという側面があります。ちなみに「社会主義」「共産主義」の対義語が「資本主義」です。

かつて共産主義者は資本主義経済で生じた不平等を革命を用いて打倒するため、自分たちの思想に反する者を危険分子として弾圧したり、排除することを認めていました。その過程で、共産主義者内の政治的な闘争も生じた結果、「非民主的」「閉鎖的」で抑圧的な政治体制が構築されていきました。

➤ 現実

しかし、「みんなが平等で公正な社会を実現する」は思想・理念であり、その実現に固執しすぎると経済が発展しないことが次第に明らかになってきました。そこで、ベトナム政府は否応なしに、市場経済制度の一部導入という現実路線を打ち立てます。これがベトナムの経済制度の大きな転換点となった1987年のドイモイ政策です。「みんなが平等で公正な社会を実現する」ことよりも、豊かになれる人から

豊かになっていき、国全体としての経済を発展させていくという体制への移行です。ベトナム共産党が主張するところでは、ベトナムの社会主義は未達成であり、達成の過渡期として市場経済を組み込んだ社会主義志向型市場経済が実施されています。ベトナムの国営テレビ局ベトナムテレビジョンの記事によると、ベトナムの社会主義志向型市場経済とは、「社会主義的法治国家の管理の下、市場機能を通じて需給調節と価格調節が行われる経済のことであり、『豊かな国民、強固な国、公平で文明的かつ、民主主義的な社会作り』という目標達成へ向けての社会主義を志向するもの」であり、社会主義と市場経済は相容れないという一部の外部勢力の主張は正しくないとしています。

近年、市場経済制度の下、順調な経済発展を遂げていることがベトナム共産党が一党独裁を敷く、大きな正当性になっています。市場経済の発展と共産主義の理念・思想の並存をどのように理論構築し説明するか、ベトナム共産党が直面している課題です。

Ⅲ.【7月注目ニュース】

➤ 各地域で月額最低賃金を約6%引き上げ

ベトナム政府は近年の物価の上昇に対し、一般労働者の最低限の生活水準を保障するため、7月1日に地域別最低賃金引き上げに関する政令を公布し、適用を開始した。地域別の月額最低賃金は以下の通り。2022年7月から2年ぶりの引き上げとなる。

ベトナム地域別月額最低賃金			
地域	改定前月額最低賃金 (2022年7月1日～ 施行)	改定後月額最低賃金 (2024年7月1日～ 施行)	引き上げ率
地域1(ハノイ市、ホーチミン市の中心部など)	4,680,000VND	4,960,000VND	5.98%
地域2(ハノイ市、ホーチミン市の郊外、ダナン市など)	4,160,000VND	4,410,000VND	6.01%
地域3(地方の都市部)	3,640,000VND	3,860,000VND	6.04%
地域4(地域1～3に含まれない農村部など)	3,250,000VND	3,450,000VND	6.15%

*VNDはベトナムの通貨で、2024年7月7日時点の為替レートは¥1=168VND。

➤ 2024年のGDP成長率は、6%～6.5%になる可能性が高い

ベトナム統計総局(GSO)は、2024年第2四半期のGDP成長率について、第1四半期の前年同期比5.66%の成長率を上回ると述べた。第2四半期の成長率は前年同期比の6.93%(推定)で、農業は3.34%、工業及び建設は8.29%、サービス業は7.07%の成長率になる。今年上半期のGDP成長率は、製造業の堅調な伸びもあり、6.42%となる見込み。

ベトナム統計総局（GSO）によると、世界経済の動向、上半期の実績、下半期の楽観的な見通しに基づき、2024年全体のGDP成長率は6～6.5%に達する可能性が高いという。一方で、今年、ベトナムが6.5%のGDP成長率を達成するには、政府は残り6か月の間に、大胆な対策を講じ、マクロ経済の安定、インフレ抑制、柔軟な金融政策を成し遂げる必要があるとの指摘もある。

とちぎベトナムサポートハブ

<所在地>14F, Viet A Building, No.09 Duy Tan, Cau Giay, Hanoi, Vietnam

HP: <https://onevalue.jp/>